

統合分野

科目名	在宅看護実習Ⅱ			担当者	横田 和		
履修学年	3年次	単位数	1単位	時間数	45時間	実務経験の有無	有
科目目的	保健・医療・福祉活動を捉え、地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、住みなれた地域でその人らしい生活が送れるように援助するための基礎的能力を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族を生活者としてとらえることができ、生活のなかでの支援の実際を考えることができる。 2. 在宅における看護実践の方法を知り、その一部を安全に実践できる。 3. 利用者の抱える問題を解決するためのその人らしい援助方法を考えることができる。 4. 社会資源の活用、関係職種との連携について理解を深め、保健医療福祉チームのなかでの看護の役割を考えることができる。 5. 訪問看護でもとめられる役割・姿勢について考えることができ、節度ある姿勢で実習に臨むことができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	3	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
横田和:5年間病院にて看護師として勤務

統合分野

科目名	看護の統合実習			担当者	高橋 里砂		
履修学年	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	病棟管理の実際を知るとともに、チームの一員として看護を実施し、看護専門職としての役割を理解し、自覚と責任感を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療における役割を理解し、チームの一員として多職種との効果的なコミュニケーションをとることができる。 2. 複数の対象の状態を把握し、優先順位を考え、安全に援助を実施することができる。 3. 優先順位、時間管理を考えた行動計画を立案し、翌日の行動計画につなげることができる。 4. ケアの場における看護管理について学ぶ。リーダー、メンバーの役割と責任について考えることができる。 5. 看護チームの一員としての役割を考えることができ、倫理的配慮をもって、実践できる。 						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	7	臨地実習
8	7	臨地実習
9	7	臨地実習
10	7	臨地実習
11	7	臨地実習
12	7	臨地実習
13	7	臨地実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
高橋里砂:13年間病院にて看護師として勤務

統合分野

科目名	看護研究			担当者	宮本 康子		
履修学年	3年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	有
科目目的	看護研究の原理と方法を理解し、学習した知識技術をもとに、学生個々のテーマに基づいた研究過程の実践をとおして、看護を科学的に実践する態度を養う。						
到達目標	1. 看護研究の原理と方法を理解することができる。 2. 論理的な思考のもと、論文を作成することができる。 3. 研究した成果の発表をすることができる。 4. 看護を科学的に実践する態度を身につける。 5. 課題に対して積極的に取り組むことができる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1・2	4	ケーススタディとは 理論の活用、文献検索	講義
3	2	ケーススタディに役立つ看護実践	講義
4	2	ケーススタディのまとめ方	講義
5・6	4	ケーススタディの論文のまとめ方	講義
7	2	抄録作成の仕方とプレゼンテーション	講義
8～11	8	ケーススタディ発表会	演習
12～15	8	ケーススタディ発表会	演習

教科書・参考図書	配布資料を保存する。 ケーススタディ参考書
成績評価方法	講義への積極的参加・毎回のレポート80% まとめレポート20%
履修上の注意点	

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
宮本康子:37年間病院にて看護師として勤務

統合分野

科目名	臨床看護の実際と管理			担当者	宮本 康子		
履修学年	3年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	有
科目目的	看護管理システムを学ぶことで、チーム医療の重要性やリーダーシップ、メンバーシップ能力の必要性を理解する。卒業後に実践できるように、対象の状態に応じた看護を実践する能力を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理システムを理解することができる。 2. 看護活動を取り巻く法律・制度を説明することができる。 3. 対象の状態に応じた看護を実践する能力を習得する。 4. 自らやるべきことを見つけ、積極的に取り組むことができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	看護管理とは、看護のプロセス	講義
2	2	看護管理の方法	講義
3	2	看護師の仕事の管理	講義
4	2	看護の質保証	講義
5	2	看護管理者に求められる能力	講義
6	2	看護活動を取り巻く法律、制度	講義
7	2	看護の法律	講義
8	8	学内演習 複数患者の看護等	演習
9	8	学内演習 複数患者の看護等	演習

教科書・参考図書	「ナーシンググラフィカ 看護管理」メディカ出版
成績評価方法	試験80%、演習20%
履修上の注意点	看護の統合実習前の講義のため実習で実践できるように講義・演習に臨む。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
宮本康子:37年間病院にて看護師として勤務